

## ○ 指導計画はどのような内容が必要か。

総合的な学習の時間の指導計画の作成に際しては、以下の七つの要素について考える必要がある。

- ① この時間を通してその実現を目指す「目標」
- ② 目標を実際の学習活動へと実践化するために、より具体的・分析的に示した「育てようとする資質や能力及び態度」
- ③ 「目標」の実現にふさわしいと各学校が判断した学習課題等から成る「内容」
- ④ 「内容」とのかかわりにおいて実際に児童が行う「学習活動」
- ⑤ 「学習活動」を適切に実施する際に必要とされる「指導方法」
- ⑥ 「学習の評価」（児童の学習状況・教師の学習指導・計画の適切さに関する評価）
- ⑦ ①～⑥の計画，実施を適切に推進するための「指導体制」

これらの七つの要素を指導計画に位置づけるために、「全体計画」「年間指導計画」の二つを作成する必要がある。

- 1 **全体計画**・・・指導計画のうち、学校として、この時間の教育活動の基本的な在り方を示すもの

各学校において定める目標、育てようとする資質や能力及び態度、内容、学習活動、指導方法、指導体制、学習の評価等について、その基本的な内容や方針等を概括的・構造的に示す。

- 2 **年間指導計画**・・・全体計画を踏まえ、その実現のために、どのような学習活動をどのような時期にどのように実施するか等を示すもの

1年間の時間的な流れの中に単元を位置付けて示すとともに、学校における全教育活動との関連に留意する観点から、必要に応じて各教科、道徳、外国語活動及び特別活動における学習活動も書き入れ、総合的な学習の時間における学習活動との関連を示す。

さらに、それぞれの単元の指導計画である「単元計画」の作成も必要である。

なお、指導計画を作成する際には、次の点に留意する。

- 1 各教科、道徳、外国語活動及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付けると同時に、それらと総合的な学習の時間との目標や内容の違いを十分留意し、目標を踏まえた適切な学習活動を行うよう計画する。
- 2 学習活動を計画する際には、学年間、小中間の重複がないように留意する。